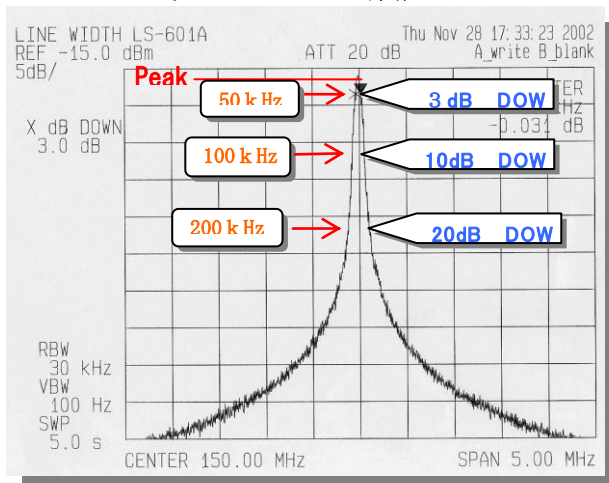


波長可変半導体レーザー光源 LS-601A

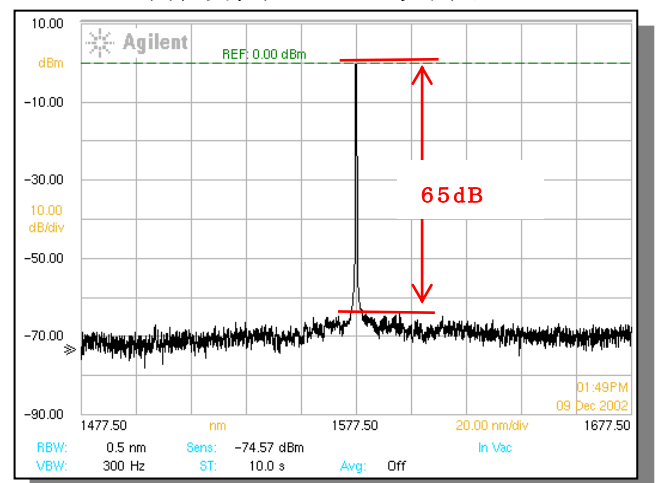


- 設定分解能 0.01pm ($\Delta f = 1.25\text{MHz}$ 相当)
 ファイナリゾリューションモード
- 波長範囲 1525~1630nm (LS-601A-56S2)
- 単色性に優れた狭スペクトラム線幅 (100 kHz以下)
- 低R I Nの低ノイズ光源 (-150 dB/Hz以下 光出力0dBmにて)
- 偏波が安定しており、変調を利用した光学測定に最適

<狭スペクトラム線幅>



<高純度、低ノイズ 光出力>



LS-601A仕様一覧

型 式	LS-601A-56S2
波長範囲	1525-1630nm
中心波長	1577.5nm
波長確度	$\leq \pm 10\text{pm}$ (実力値: $\leq \pm 5\text{pm}$)
波長分解能	$\leq 0.1\text{pm}$
波長再現性	$\leq \pm 5\text{pm}$ (実力値: $\leq \pm 1\text{pm}$)
波長設定時間(代表値)	600ms/800ms/2.8s (1nm/10nm/100nm step) *2
サイドモード抑圧比(代表値)	$\geq 50\text{dB}$ *6
光出力*4	$\geq +2\text{dBm}$ (1540-1620nm) $\geq 0\text{dBm}$ (1525-1630nm)
スペクトラム線幅(代表値)	$\leq 30\text{kHz}$ *3
RIN(代表値)	$\leq -150\text{dB}/\text{Hz}$
周波数安定度*1	$\leq \pm 100\text{MHz}$ (60min.) = $\pm 0.8\text{pm}$ (波長安定度)
光出力安定度*1	$\leq \pm 0.03\text{dB}$ (60min.)
光出力再現性(代表値)	$\leq \pm 0.01\text{dB}$
光出力直線性(代表値)	$\leq \pm 0.1\text{dB}$
光出力フラットネス (代表値)	$\leq \pm 0.2\text{dB}$ (APS機能: ON) $\leq \pm 0.4\text{dB}$ (APS機能: OFF) *5
光出力可変機能	有 (最大出力 $\sim -30\text{dBm}$: 設定分解能 0.01dB)
波長/周波数掃引機能	有
APC機能	有
光出力モニタ機能	有 (光出力を表示画面上でモニタ可能)
外部高周波変調機能	10-120MHz ($\leq +10\text{dBm}$)
内部低周波変調機能	200Hz-300kHz (変調度: 最大約30%)
ビームシャッタ機能	有
出力ファイバ	偏波保持ファイバ(パンダ)
偏光状態	直線偏光、出力コネクタのキー方向、消光比 $\geq 20\text{dB}$ (代表値)
寸法・重量	350W×430D×147H, 16kg

記載内容は予告なく変更することがあります

*1: 環境温度一定の条件

*2: High SpeedがONで、APSがOFFで、かつモニタ表示OFFのとき(GP-IB制御)

*3: High SpeedがONのときは約10MHzになります。内部低周波変調機能により最大50MHzまで可変可能です。

*4: 絶対光出力確度に関しては、使用する光ファイバの性能やマッチングにより測定結果が著しく影響されるため保証しません。

*5: APSがOFFのときは、LS-601A-56S2の場合1540-1620nmと1525-1630nmの波長帯域で約2dBの光出力差を生じます。両波長帯域を連続して使用する場合は、APSをONにして下さい。

*6: ヘテロダイン法により測定

お問合せ先



光伸光学工業株式会社
営業部 〒259-1302 神奈川県秦野市菩提69-3
TEL : 0463-75-5196 FAX : 0463-75-3535



山一電機株式会社
〒144-8581 東京都大田区南蒲田二丁目16番2号
テクノポート三井生命ビル11F
TEL : 03-3734-0110 (代表) FAX : 03-3734-0120